

◆ News Release ◆

各位

株式会社阪急阪神エクスプレス

～アフリカ拠点のロジスティクス事業強化～

2024年8月 ナイロビ第二倉庫開設

阪急阪神エクスプレス(本社:大阪市北区 代表取締役社長:谷村 和宏)のケニア法人である INTRASPEED ARCPRO (KENYA) LIMITED (本社:ナイロビ、以下、Intraspeed 社)は、ケニアの首都ナイロビ市に新たに倉庫を開設し、8月1日より営業を開始しました。

ナイロビ本社併設の倉庫は、ナイロビ国際空港から車で約10分、ナイロビエクスプレスウェイ出入口すぐ、また、2つのICD(*)ーシオーカマウ(Syokimau)ICDとナイロビICDーからも近い絶好の立地にあるサンフラッグ工業区(倉庫団地)に位置しています。現倉庫では各ICDやモンバサ港に到着した海上輸入コンテナのデバンニング・一時保管、ピース単位での入出庫ピッキングから検品、ラベリングを行う3PLのほか、保税エリアを利用した酒税や関税の支払いを据え置くための輸入前一時保税保管、海上から内陸国であるウガンダ、ルワンダ、ブルンジ、タンザニア向け陸送に積み替えるクロスドックを主な業務としています。また、他の海外現地法人にはないユニークなサービス機能として、ルーフ付き保税ヤードが近くにあり、倉庫内で保管しにくい新車、背高の産業機械、建機などの輸入前一時保管にも対応しています。

この現倉庫も手狭となり、さらなる3PL需要の増加に対応するため、このたび同工業区内に新たに第二倉庫を開設するに至りました。第二倉庫では現倉庫同様、保管貨物はWMSシステムで管理し、24時間CCTV、営業時間中の警備員の常駐など、貨物の保安、サービス品質の維持とセキュリティ対策には万全を期しています。

Intraspeed社は1999年2月に設立し、南アフリカ、ケニアに拠点を展開。当社は2018年1月に出資して子会社化した以降、アフリカにおけるビジネス展開を強化してきました。8月の南アフリカ・ヨハネスブルグ第二倉庫に続く今回のケニア・ナイロビ第二倉庫、また今冬にはダーバン支店・倉庫の移転拡張を予定するなど、ロジスティクス事業を中心としたアフリカ市場での強固な事業基盤を確立してまいります。

当社はグローバルに展開する高品質な国際輸送サービスとともに、お客様に最適なロジスティクスをプロデュースしています。今後も国内外における倉庫の施設や機能を拡充し、さらなるロジスティクス事業の拡大を目指してまいります。

(*) ICD:“Inland Container Depot”の略で、内陸のコンテナ蔵置場。モンバサ港(ナイロビから約480km、約5-6時間)とは高速鉄道で結ばれており、FCLコンテナ輸送が行われています。

以上

<倉庫外観>



<倉庫内観>



<ナイロビ第二倉庫概要>

名称	INTRASPEED ARCPRO (KENYA) LIMITED Nairobi 2nd Warehouse
住所	Sunflag Industrial Park, Unit 13, Mombasa Road, Nairobi, Kenya
営業開始日	2024年8月1日
倉庫面積	1,080 m ²
倉庫設備	非常用発電機、24時間CCTVセキュリティ
業務内容	在庫管理、流通加工、集配送、食品保管

<ケニア法人拠点展開>

○INTRASPEED ARCPRO (KENYA) LIMITED		設立年月
①	ナイロビ本社・倉庫	2003年8月
②	モンバサ支店	2003年8月
③	ナイロビ空港事務所	2003年8月
④	マラバ支店	2016年9月
⑤	ティカ支店	2022年11月
⑥	ナイロビ第二倉庫	2024年8月

<ケニア法人拠点地図>



<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急阪神エクスプレス メディア統括室

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-1450/FAX:03-6745-1458

www.hh-express.com/jp/